

チェコを代表する名門オーケストラの、豊かな響きと力強いサウンド!
注目のピアニストと共にお贈りする、究極のクラシック名曲集!

チェコ国立ブルノ・ フィルハーモニー管弦楽団

Brno Philharmonic Orchestra



ベルリン・フィル×ラトルと共演!!
今、最も注目の若手実力派ピアニスト!

ピアノ:
イーヴォ・カハーネク

情熱的なスラヴの魂が
会場一帯に響き渡る!

指揮:
レオシュ・スワロフスキー

✿ 予定プログラム ✿

スメタナ 連作交響詩「我が祖国」より **“モルダウ”**

B.Smetana: The Moldau, from A Cycle of Symphonic Poems "My Country"

チャイコフスキー **ピアノ協奏曲第1番** ピアノ:
イーヴォ・カハーネク

P.I.Tchaikovsky: Piano Concerto No.1 in B flat minor Op.23

ドヴォルザーク 交響曲第9番 **「新世界より」**

A.Dvořák: Symphony No.9 in E minor "From the New World" Op.95 B.178

2015年11月3日(火・祝) 15:00開演
(14:30開場)
藤沢市民会館大ホール

●主催・お問合せ/ 茅ヶ崎市楽友協会 ☎0467-82-3744
●共催/(公財) 藤沢市みらい創造財団
芸術文化事業課 ☎0466-28-1135
●後援/ 湘南リビング新聞社 ☎0466-27-7411

※上演プログラム・出演者はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承下さい。
※未就学児入場不可。

全席指定(税込)

S席 10,000円
A席 7,500円
B席 5,000円

プ
レ
イ
ガ
イ
ド

(7月17日(金)発売開始)
光藍社チケットセンター ☎050-3776-6184
光藍社 <http://www.koransha.com/> (座席指定OK)
チケットぴあ(Pコード: 267-498) ☎0570-02-9999
ローソンチケット(Lコード: 35024) ☎0570-000-407
イープラス <http://eplus.jp/> (パソコン&ケータイ)
セブン-イレブン (店内マルチコピー機にて販売)
(7月18日(土)発売開始)
*藤沢市民会館 ☎0466-23-2415
*湘南台文化センター ☎0466-45-1550
* (発売日当日の電話予約は11:00から)
茅ヶ崎市楽友協会 ☎0467-82-3744
川上書店 茅ヶ崎ラスカ店 ☎0467-87-3826
湘南リビング新聞社 ☎0466-27-7411

中欧の名門オーケストラが スラブ人の「こころ」と「におい」を伝える!!

緑に覆われたなだらかな丘陵がどこまでも続き、見渡す私たちが幸せな気持ちにさせる。ゆったりとした時間が流れ、人々の平和な日々の営みがうかがわれる、ここは中欧のチェコ・プラハに次ぐチェコ第2の都市ブルノからチェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団が2年ぶりにやってくる。来日の度に、「これがチェコ人の作り出すしなやかな音だ、これがスラブ人の心の音楽だ」とばかりにコンサートホールにいる私たちの心を揺さぶった、中欧を代表する名門オーケストラだ。

古くから「チェコ人、それは音楽家だ」と言われるほど卓越した音楽性を持った人々が暮らすお国柄。その精鋭たちが今回も魅力的なプログラムを携えてきた。

チェコ国民音楽の祖スメタナの『モルダウ』。山奥の小さな泉から湧き出る水は小川となり、素朴ながら生活を楽しむ術を知っている人々が暮らす村々を調し、やがて大河モルダウ(ヴァルタヴァ)となってチェコを貫いていく。聴くにつれて、チェコの風景が眼前に広がっていく、まさに一巻きの絵巻。

そして、チェコの偉大なる作曲家ドヴォルザークの交響曲『新世界より』。故郷チェコの自然、心優しい人々を愛してやまないドヴォルザークが、赴任先である新世界アメリカ・ニューヨークから寄せる、これは「望郷のラブレター」だ。

間に挟まれたチャイコフスキーの名曲・ピアノ協奏曲第1番も同じスラブ系の彼らが演奏すれば、こんなにも血が通うものなのかと感嘆するに違いない。独奏はチェコ音楽界の注目株、イーヴォ・カハーネク。昨年共演した指揮者サイモン・ラトルも「特別な個性、独特の美しい世界観を持った逸材」と賞賛したピアニストだ。

私たちは今、地球が狭く感じられ、均一化されようとする波に晒されている。だからこそ、逆に世界各地の国民性・民族性が持つ「こころ」や「におい」に敏感になり、新たな価値を見いだしている。

物静かでありながら、心の中には熱いものを秘めたスラブ人演奏家による今回のブルノ・フィルのコンサートは、音楽の素晴らしさとともに、そうした「ローカリズム」の価値と自信を教えてくれるに違いない。

レオシュ・スワロフスキー(指揮)

ブラハ音楽院でフルートを学んだ後、高名なヴァーツラフ・ノイマンの下で指揮を学び、チェコ国立歌劇場でズデニェク・コシュラーのアシスタントを務めた。1991年にカラヤン基金が授与され、ザルツブルク音楽祭ではサー・ゲオルグ・ショルティ、クラウディオ・アバドのアシスタントを務め、国際モーツァルト財団からその年の最優秀若手指揮者に選ばれた。これまでブラハ室内管弦楽団、ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団、スロヴァキア・シンフォニエッタの首席指揮者を歴任。チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ブラハ放響、ミュンヘン放送管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルト財団管弦楽団、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団などに客演し好評を博している。



イーヴォ・カハーネク(ピアノ)

チェコを代表する若手ピアニスト。情緒豊かな音色に富み、卓越した深み・表現力を持つ。

マルタ・アデロヴァに師事しヤナー・チェク音楽院、イヴァン・クランスキーに師事しブラハ芸術アカデミーを卒業。

2004年、ブラハの春国際音楽コンクール優勝。ボン・ベートーヴェン音楽祭、ブラハの春音楽祭での輝かしいデビュー後、数多くの著名な音楽ホールにて、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団、BBC交響楽団、ブラハ・フィルハーモニー管弦楽団、ケルン放送交響楽団等ヨーロッパの主要なオーケストラとの共演を重ねる。

2014年には、サイモン・ラトル指揮/ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団とマルティヌーのピアノ協奏曲第4番で共演。ラトルからは次のような賞賛を浴びた。「イーヴォ・カハーネクは偉大なピアニストで、我々も彼の演奏を楽しんでいる。彼には誰しもが感じるような特別な個性を持っている。彼独特の美しい世界観を持っており、彼の演奏には完璧な誠実さと高潔さを感じる。彼の演奏はいい意味で全く「非現実的」であり、とても暖かい、歌うような音色を奏でることは、すぐに聴き取れる。彼との共演は心からの喜びと名誉である。」サー・サイモン・ラトル

2007年から2009年にかけて、チェコの音楽レーベル・スプラフォンより、6枚のCD(ヤナー・チェク、マルティヌー等の作品を収録)を発表し、一流の音楽評論誌において最高評価を得ている。また、2010年には最新のCD(ショパン:ピアノ・ソナタ第3番、4つのスケルツォを収録)がスプラフォンよりリリースされた。



ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団

ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団は、作曲家ヤナー・チェクにより設立され、チェコ共和国第二の都市ブルノを代表する半世紀以上の歴史を持つオーケストラである。多くの室内アンサンブルや合唱団を持ち、国際的な評価を得ている。

ブルノ・フィルは1956年以降700回以上のコンサートをヨーロッパを中心に行っている。ヴァチカンでローマ法皇のためのコンサート(2000年)や、トヨタクラシックス(2004年)、ドイツのラインガウ音楽祭(2005年)にも出演し、2006年にはウィーンの楽友協会公演を行い高い評価を得た。

アンチェル、マッケラス、クルト・マズア、メニューイン、ミュンシュ、クーベリック、ロジェストベンスキーら、多くの世界的な指揮者が指導をしている。また、世界的なソリスト達、スヴァトスラフ・リヒテル、ブロンフマン、ヴィルヘルム・ケンペ、リルジョン、ジュリアン・ラクリン、エヴァ・ウルバノワらと共演している。

チェコ国内では、年間約40回のコンサートを開き、同時にヤナー・チェク劇場で開催されるコンサートシリーズにも参加している(年間約25回)。また、毎年ブルノ国際音楽祭に出場し、「ブラハの春」フェスティバルにも定期的に参加している。ベルリン、ミュンヘンなどの音楽祭にも参加し、高い評価を得ている。



ご注意とお願い

- 会場内における飲食、喫煙はご遠慮下さい。 ●写真撮影、録音等は禁止させていただきます。 ●未就学児童のご入場はお断りいたします。
- 開演後のご入場は制限させて頂く場合がございます。 ●都合により曲目、出演者が変更する場合がございますが、お買い上げいただきましたチケットのキャンセル、変更及び払い戻しはできませんのでご了承ください。